

# 令和6年12月定例会

## 一般質問通告書一覧 (12月6日)

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 (17番) 工藤 将之 (日本維新の会) <b>【一括質問】</b>	<p><b>1 保育士確保のための県の施策について</b></p> <p>待機児童が増加する要因には、施設不足と保育士不足の二つがあるが、奈良県では保育士不足の方が要因として大きいと考える。保育士確保のため、奈良県ではどのような施策を行っているのか伺いたい。</p> <p><b>2 私立高校無償化の制度拡充について</b></p> <p>奈良県の子ども達が、金銭的な問題で私立高校への進学をあきらめるようなことのないよう、私立高校無償化の世帯収入制限をなくす考えはないか、今後の見通しについて伺いたい。</p> <p><b>3 部活動による県立高校の魅力創出について</b></p> <p>県の教育委員会が主導して新たな部活動を設置することも、県立高校の魅力創出の一環として有効な施策ではないかと考えるが、所見を伺いたい。</p> <p><b>4 主要地方道桜井吉野線の事業進捗について</b></p> <p>県内の道路整備加速化のため、主要地方道桜井吉野線についても、なお一層の事業推進に取り組んでいくべきと考えるが、現在の事業進捗状況について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>教 育 長</p> <p>県土マネジメント 部 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(21番) 浦西 敦史 (自由民主党・ 無所属の会) 【一括質問】</p>	<p><b>1 奈良県産材の利用促進について</b></p> <p>今議会に「奈良県の建築物における県産材利用促進方針の変更について」を議案として提出されているが、この県方針の変更に合わせて、建築物における奈良県産材の利用の促進について、今後どのように取り組むのか、県の考えを伺いたい。</p> <p><b>2 ツキノワグマ対策について</b></p> <p>地域住民の暮らしの安全を守り、人とツキノワグマとの共生を実現するため、本県におけるツキノワグマ対策のこれまでの取組と今後の進め方について、県の考えを伺いたい。</p> <p><b>3 国道168号五條新宮道路の整備について</b></p> <p>国道168号五條新宮道路の現在の進捗状況並びに、まだ決まっていない京奈和自動車道へのアクセスについてどのように整備していく方針か、県の考えを伺いたい。</p> <p><b>4 国道169号の整備について</b></p> <p>国道169号の整備進捗状況並びに今後の整備方針について、県の考えを伺いたい。</p> <p><b>5 県道高野天川線及び国道309号の整備について</b></p> <p>野迫川村から上北山村に繋がる東西軸の高野天川線及び国道309号について、現在の整備状況と、まだ改良されていない区間の整備の考え方について、県の考えを伺いたい。</p>	<p>環境森林部長</p> <p>食 農 部 長</p> <p>県土マネジメント 部 長</p> <p>県土マネジメント 部 長</p> <p>県土マネジメント 部 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(23番) 池田 慎久 (自由民主党・ 無所属の会) 【一括質問】</p>	<p>1 「年収103万円の壁」の見直しによる税収への影響について</p> <p>「年収103万円の壁」を見直すことを内容とする税制改正により、奈良県の税収にはどの程度の影響があると見込まれるのか。また、県内市町村の税収にはどの程度の影響があると見込まれるのか。</p> <p>2 中小企業等の支援策と人材確保に向けた取組について</p> <p>(1) 県では、県内中小企業や小規模事業者を取り巻く環境をどう捉え、どのように施策に反映し、県内事業者を支援していくのか。</p> <p>(2) 中小企業の人材不足が深刻となる中、昨年度、賃上げを行った企業に対して県が支援した成果はどうだったのか。また、県外就労など若者の県外流出を食い止めるために、人材確保に向けた更なる取組を進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>3 私立高等学校等の授業料無償化のさらなる充実について</p> <p>奈良県における私立高等学校等の授業料無償化について、県内私学の受験生の動向、進学者数など、取組1年目の状況を伺いたい。また、今後、さらに拡充して欲しいという声があるが、とりわけ県外私学を対象とすることについて、知事の考えを伺いたい。</p> <p>4 農業振興地域の整備に関する法律（農振法）の改正について</p> <p>今般の農振法の改正は、農家の生活や、企業立地など県勢発展に資する事業にも大きな影響を及ぼしかねないと言われている中、県として今回の法改正をどのように認識しているのか。また、今後、どのように対応していこうと考えているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(23番) 池田 慎久 (自由民主党・ 無所属の会)</p>	<p>5 鹿やイノシシなど有害鳥獣被害対策について</p> <p>奈良県の中山間地域では鹿やイノシシなどによる農作物への被害が多く発生しており、有害鳥獣の個体数が増えていると推察されるが、県ではどのような鳥獣害被害対策を行っているのか。</p> <p>6 農業を営む地域住民と奈良のシカが共存できる新しい仕組みについて</p> <p>昨年8月の鹿苑の問題に端を発して、改めて奈良のシカとの向き合い方が問われている中、天然記念物「奈良のシカ」の保護管理に関わる地区区分のうち、緩衝地区であるC地区と、管理地区であるD地区において、農業を営む地域住民と奈良のシカが共存するための仕組みを大胆に見直すことが必要と考えるがどうか。</p> <p>7 県が管理する道路の維持管理について</p>	<p>食 農 部 長</p> <p>知 事</p> <p>【 要 望 】</p>